

協働の森パートナーズ協定

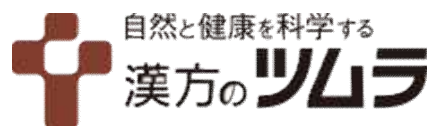
ツムラ出前授業

人が森を助ける。
森が人を助ける。



「環境先進企業との協働の森パートナーズ協定」については、高知県林業振興・環境部林業環境政策課のHPをご覧ください
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/kyoudounomori.html>

協定企業：株式会社ツムラ様
開催場所：越知町立越知中学校
開催日：令和5年9月25日（月）
参加者数：41名



（株）ツムラ5名、農事組合法人ヒューマンライフ土佐1名、
越知中学校29名、越知町5名、高知県1名）

「土佐ツムラの森」交流活動は、越知町と企業とのパートナーシップが環境保全や産業の活性化に役立っていることを知ることで、地元の中学生が地域への学びを深めていくことを目的として実施されています。今回の対象者は越知中学の一年生です。



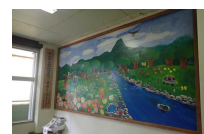
最初に、先生からZOOMを使った授業の流れの説明がありました。ZOOM参加は、ツムラ本社と漢方記念館からです。まずは、越知中学校に来校されていた農事組合法人ヒューマンライフ土佐代表理事の高橋氏が協働の森づくり事業について、また「よい生薬はよい水から」というお話をして下さいました。ヒューマンライフ土佐は収穫された生薬の加工までを行い、その生薬を使ってツムラが漢方薬を作っています。



茨城県にある漢方記念館の重野氏からは、ライブ映像を交えながら漢方記念館の解説、ツムラ本社サステナビリティ推進室の鈴木氏からはパワーポイントを使っての生薬の説明がありました。

その後の質疑応答では、生徒から「工場で漢方薬1つを作る時間はどれくらいか」「なぜ水あめを使うのか」「植物のどの部分を使うのか」等の質問があり、鈴木氏は一つひとつ丁寧に答えました。

今回の交流活動が、「よい生薬を生み出すよい水のある」ふるさと越知町に対する誇りや環境保全への関心のきっかけとなると嬉しいですね！



人が森を助ける。
森が人を助ける。

